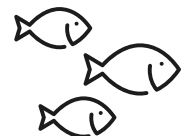


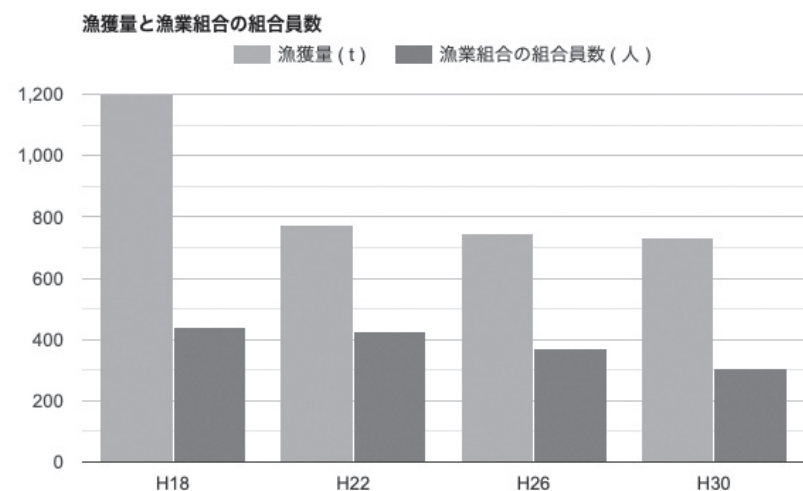
美波町の水産業の課題と希望



美波町は美しい海に面し、海の恩恵を受けてきました。美波町が誇るアオリイカやワカメは町外の人にとっても魅力のある地域資源です。この素敵な資源が将来に渡りあり続けるために、美波町が取り組む水産業における課題やこれからについてお伝えします。

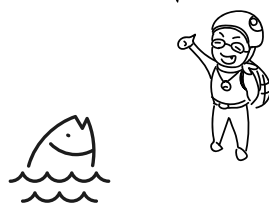


▶ 美波町の水産業における課題



* 漁獲量と漁業組合の組合員数は年々減少傾向にあります。

水産業を盛り上げるためには、
儲かる仕組みを作り、
担い手を増やすことが必要!!



▶ 美波町総合戦略での課題解決指針

* 総合戦略とは? > 各地域の特色を活かした、持続可能なまちづくりのための計画書です。

【基本目標 2】みなみの資源を活かした仕事づくり

(ア) 美波の特性に応じた地域産業の育成・強化

■ “儲かる漁業”の確立

・漁業従事者の確保・育成を図るとともに、大学や県水産研究所等との連携による新たな技術の活用や海面海藻養殖事業等の取り組みを進めることで、“儲かる漁業”の確立をめざします。

【基本目標 4】みなみの人がつくる、個性ある住みよい地域づくり

(ウ) 美波の個性を活かしたまちづくり

■ 地元の食材を活かした「食育」の実施

・地元の豊かな食材とともに地域の食文化についても理解を深め、食の大切さを理解して健全な食を実践するため、自分の身体と食とを関連して考えることができるような学習の場を提供します。



▶ 儲かる × 美波の海の恵み研究会(通称 / うめぐみ)



うめぐみは、漁業者の有志らで結成された海藻養殖で新しい漁業を創る会です。最初は、補助金を活用した新たな漁業創出に向けた技術開発からのスタートでした。しかし、会員の方々の養殖ヒジキ、新品種ワカメ養殖、健康食品の新商品開発、徳島大学との連携などメンバーが多様な努力を重ね、県外に顧客ができるほど、自立した研究会となっています。美波町の総合戦略に基づく、町内の自主的・主体的で先導的な取り組みを支援する地方創生交付金の活用だけでなく、そこから自立しての研究会の維持・継続はまさに地方創生の深化と言えるのではないのでしょうか。過疎でもこうして次々と次世代の希望となる持続可能な取り組みが生まれるからこそ、美波町は”にぎやかそ”なまちであり続けています。今後のうめぐみの研究がますます楽しみです。

▶ 食育 × 徳島県アオリイカ維持増殖プロジェクト

徳島県アオリイカ維持増殖プロジェクトは美波町を中心に、アオリイカを徳島県の地域共通の資源として守り育てる目的で発足しました。ピーク時に比べおよそ10分の1ほどに減った漁獲量や漁業者の高齢化による担い手不足が深刻化する状況を打破しようと、アオリイカ産卵礁の設置や食育活動を行っていく予定です。長期的な活動ですから、特に次世代の子どもたちの活動への理解は欠かせません。そこで、水産業の授業や産卵礁の共同設置作業だけではなく、一夜干しづくり体験やイカスミアート、レシピ開発など子どもたちが親しみやすい内容を計画しています。徳島県南のこの地形、気候だからこそ育まれたアオリイカという地域資源をこれからも守り続けるプロジェクトに、みなさんご期待ください。



産卵礁に付いたアオリイカの卵

人口が減ってもにぎやかな町・美波町をつくるために、日々頑張る人や団体、取り組みなどの情報をお待ちしています！
▶ 役場政策推進課 (77-3616) もしくは ▶ QRコードの応募フォームからご連絡ください。

